



吉川市立東中学校 学校だより

あいさい

<https://www.yoshikawa.ed.jp/higashi-jh>

令和8年7月号

全校生徒数 280名
〒342-0017

住所：吉川市上笹塚 3-104-1

TEL：048-982-0244



「支え合う真心」が絆を深める

～サッカー日本代表が教えてくれた「本当の強さ」～

校長 伊東 猛

日増しに厳しくなる暑さの中、雨上がりの校庭からは夏の匂いが立ち上るようになってまいりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動へ温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。いよいよ1学期も締めくくりの月を迎えました。生徒たちにとっては、期末テストが終わり、日々の学習や生活の成果と課題をじっくりと振り返る、大切な節目となる時期を迎えています。

さて、現在開催中のサッカーワールドカップの舞台に目を向けると、躍進を続けるサッカー日本代表チームの舞台裏から、本校が目指す学校像の本当の意味を学ぶことができる場面を見つけました。

初戦で強豪オランダ相手に劇的な同点劇を演じた日本代表ですが、その後、選手たちだけが集まる特別なミーティングが実施されました。その場で、大ベテランの長友佑都選手が、試合直後の誰もいなくなったロッカールームで目撃した「ある光景」を、仲間たちへ熱く語りかけた場面がありました。それは、今回の公式登録メンバーからは外れ、サポート役としてチームに同行している吉田麻也選手と南野拓実選手の姿でした。二人は、試合で激闘を繰り広げた選手たちの泥だらけになった汚れたスパイクを自ら黙々と磨き、使用済みのユニフォームを丁寧に片付けていたのです。かつてキャプテンとして日本代表を牽引した吉田選手と、第一線で活躍する実力者の南野選手ですから、夢の舞台であるワールドカップの試合に出られないことはとても辛いことだと思います。しかし二人は、「チームを勝たせるために、今の自分にできる全力を尽くす」という強いプライドと覚悟を持って、誰も見ていない裏方の雑用を率先して行っていたのです。

ここには、二人の確かな「立志」と「真心」があります。ピッチの外であっても「世界一になる」という高い志を失わない「立志」の心。そして、自分の悔しさを横に置き、共に戦う仲間を思いやり、見返りを求めず尽くす「真心」の行動です。長友選手は「こんなことができる偉大なベテランがいるチームは世界一の団結力だ」と訴え、新キャプテンの板倉滉選手をはじめ、ピッチに立つ選手たちは引き締まった表情で、改めて感謝と覚悟を胸に刻んだそうです。



これは、学校生活を送る本校の生徒たち、そしてクラスや学年という組織にも、全く同じことが言えます。学校生活は、目立つ主役だけで成り立つものではありません。華やかな場面の裏には、必ず陰で自分にできる貢献を全うする仲間や、場所や道具を守る裏方の支えがあります。本当の「強さ」や「団結」とは、そうした陰の努力に気づき、お互いにリスペクトを払い合える心の通い合いにあります。

生徒の皆さん、間もなく始まる夏休みは、皆さんの「立志」と「真心」を実践するときです。家庭や地域という生活の場に移っても、自分の新たな目標に高い志を持って全力を尽くし、家族や周りの人へ感謝と思いやりの心を持って接してください。

皆さん一人ひとりが、最高の「真心」を大切にしながら「一生の記憶に残る夏」を過ごし、一回り大きく成長した姿で2学期に再会できることを楽しみにしています。